

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載
 【部門区分】第3部門第2区分
 【発行日】令和3年9月24日(2021.9.24)

【公開番号】特開2021-59605(P2021-59605A)
 【公開日】令和3年4月15日(2021.4.15)
 【年通号数】公開・登録公報2021-018
 【出願番号】特願2021-4728(P2021-4728)
 【国際特許分類】

A 6 1 K 38/17 (2006.01)
 A 6 1 P 25/02 (2006.01)
 A 6 1 P 15/10 (2006.01)
 A 6 1 P 15/00 (2006.01)
 A 6 1 P 35/00 (2006.01)
 C 0 7 K 14/705 (2006.01)

【F I】

A 6 1 K 38/17
 A 6 1 P 25/02 Z N A
 A 6 1 P 15/10
 A 6 1 P 15/00
 A 6 1 P 35/00
 C 0 7 K 14/705

【手続補正書】

【提出日】令和3年8月11日(2021.8.11)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

外科手技に起因する坐骨神経損傷を被るリスクがある対象において神経因性疼痛を減少させる方法に使用するための、有効量のグリア成長因子2(GGF2)を含む組成物。

【請求項2】

外科手技が、組織切開または腫瘍切除術であり、任意で、組織または腫瘍が癌であり、好ましくは、癌が固形癌であるかまたは癌が前立腺癌もしくは乳癌である、請求項1記載の方法に使用するための組成物。

【請求項3】

外科手技が、骨盤、腹部、または結腸直腸の手術である、請求項1記載の方法に使用するための組成物。

【請求項4】

坐骨神経損傷が、神経離断、神経挫滅、または神経脱髄である、請求項1記載の方法に使用するための組成物。

【請求項5】

不連続な投薬レジメンに従って投与される、請求項1記載の方法に使用するための組成物。

【請求項6】

不連続な投薬レジメンが、指定の間隔での組成物の投与を含み、任意で、
 a) 該指定の間隔が、24時間ごと、48時間ごと、および72時間ごとからなる群より選択さ

れるか、または少なくとも24時間ごと、少なくとも48時間ごと、および少なくとも72時間ごとからなる群より選択され、好ましくは、該不連続な投薬レジメンが、約1週間、約2週間、約3週間、約4週間、約5週間、約6週間、約7週間、約8週間、約9週間、約10週間、約11週間、および約12週間からなる群より選択される期間にわたって継続されるか；または
b) 該指定の間隔が、少なくとも1週間に1回であり、好ましくは、該不連続な投薬レジメンが、約1ヶ月、約2ヶ月、または約3ヶ月からなる群より選択される期間にわたって継続される、

請求項5記載の方法に使用するための組成物。

【請求項7】

有効量のグリア成長因子2 (GGF2) が、約0.001mg/kg体重 ~ 約5mg/kg体重である、請求項1記載の方法に使用するための組成物。

【請求項8】

有効量のグリア成長因子2 (GGF2) が、約0.001mg/kg体重 ~ 約0.5mg/kg体重である、請求項7記載の方法に使用するための組成物。

【請求項9】

有効量のグリア成長因子2 (GGF2) が、

- a) 約0.06mg/kg ~ 約0.1mg/kg、
- b) 約0.1mg/kg ~ 約0.3mg/kg、
- c) 約0.3mg/kg ~ 約0.5mg/kg、
- d) 約0.5mg/kg ~ 約0.7mg/kg、
- e) 約0.7mg/kg ~ 約1.0mg/kg、
- f) 約0.5mg/kg ~ 約1.0mg/kg、および
- g) 約1.0mg/kg ~ 約1.5mg/kg、

から選択される、請求項7記載の方法に使用するための組成物。